



学薬のひろば



Vol. 020

3/26 (土) 通信会館にて東海4県のブロック会が行われ各県の状況と日本学校薬剤師会全国会長会(11/16 赤坂プリンスホテル)の概況をうけて新年度からの4県の対応等の検討が行われました。新年度に入り4/3(日)に愛知県学校薬剤師会支部長会兼臨時総会がアイリス愛知で開催され「学薬」のさらなる飛躍を願って会費の改定、新役員の改正が承認されました。新会長となられる築城先生には日学薬副会長としても全国で十分な指導力を発揮して頂くとともに県学薬会長としても私たち学薬会員をご指導頂きたいと思えます。

平成17年度 愛知県学校薬剤師会支部長会兼臨時総会報告

愛知県学校薬剤師会理事 山口一丸

去る4月3日(日)県薬会館近くの「アイリス愛知」において、平成17年度 愛知県学校薬剤師会支部長会兼臨時総会が行われた。最近、土曜日は県薬会館の会議室が他部会との兼ね合いで使えないことが多く、今回のように日曜日に役員会・支部長会が行われることが珍しくない。日曜日が唯一の休日である先生が多いことを考えれば、内容のより一層の充実を考える必要があると思われました。

さてそんな中、各地区の支部長先生にお集まりいただき会は始まった。本会は臨時総会も兼ねるということで人数確認が行われ、出席が過半数を超えていることから臨時総会の成立が認められました。

初めに、亀井新県薬会長からご挨拶をいただいた。学校薬剤師の仕事は薬剤師として、地域貢献活動の一つであるとの見解を示し、会員一人一人が熱意と責任を持って取り組むよう指導いただいた。特に本年度から学薬会員の手元に届く「くすりのお話」のCD-ROMを十分に活用いただきたいと述べられた。

総会の内容は

1. 愛知県学校薬剤師会会費の改定
2. 平成17・18年度役員改正
3. 各地区の概況

についてであった。

1. 愛知県学校薬剤師会会費の改定について

日学薬の事務運営も含めた諸々の事情により会費の値上げ「年額4,000円から8,000円の値上げ」が提案され、賛成多数で承認された。(ただし、学校薬剤師1名につき年額8,000円とする)

これに対し、支部長側から「会費を値上げする以上、会運営における諸経費の健全性を今一度見直す必要があるのでは」との意見が出された。(理事側了承)

2. 平成 17・18 年度役員改選について

会長をはじめ、副会長・理事・監事・顧問の入れ代わりがあり、賛成多数で承認された。なお、会長は大橋伸旭先生に代わり築城敬直先生（北区）が就任した。

3. 各地区概況

各地区に共通しているのは、「会員の高齢化」と「新会員のなり手がいない」という点であった。調剤業務の増加や薬剤師不足による一人薬剤師問題があげられた。

就 任 ご 挨 拶

愛知県学校薬剤師会 会 長 築 城 敬 直

この度、伝統ある愛知県学校薬剤師会会長に、大橋前会長の後を受け、就任致することになりました。

歴代の会長・会員の先生方に笑われないように、微力ではございますが、全力を振り絞り会務の遂行に尽くして参りたいと考えておりますので、会員の先生方には、従来にもましてご支援・ご協力をお願い申し上げます。

幸いな事に、愛知県薬剤師会の亀井新執行部に樋口光司先生が副会長に、水野 勉先生・木全勝彦先生が理事としてご就任いただき、県学薬と県薬との関係は以前にもまして、密接なものになると思います。

学校薬剤師の置かれている立場は重大な岐路にあり、薬剤師の 6 年制が平成 18 年度から実施され、平成 24 年度には第一回の卒業生が誕生いたします。

学校医師・学校歯科医と同じ状況になる訳で、学校薬剤師の基本給は三師同額を勝ち取らなければならないと考えております。そのためには、会員の先生方お一人お一人が、学校薬剤師としてのご自覚をお持ちいただき職務を遂行して頂く事が必要な事と思います。

県学薬の執行部と致しましても、会員の先生方のご支援・ご協力を糧に三師同額の基本給の実現に向けて努力をいたして参ります。

宜しく願い申し上げます。



【平成 17 年度上半期予定】

- 4月23日（土） 日学薬総会
- 6月 5日（日） 県学薬総会
- 6月11日（土） 日学薬東海ブロック会議
- 7月24日（日） 支部長会・第3部会講習会